

都市計画と高速交通、地域交通

都市計画は、本町の都市（まち）づくりの基本であり、土地利用のあり方や、道路、公園、公共施設など都市施設整備の計画を総合的・一体的に定めるものです。

昭和63年に都市公園として完成した六郷鉄道記念公園は、近隣にユニバーサルデザインの新白樺団地や老人福祉施設が建設され、さらに白樺団地跡地の宅地分譲により新たな住宅が建設され、公園利用者の増加が予想されることから、利便性向上のため、公園トイレのバリアフリー化及び水洗化工事をいたします。

北海道新幹線の札幌延伸は、昨年6月に認可・着工が決定いたしました。完成は23年後の予定であるため、今後は関係機関・団体と連携し、早期開業に向けた要望活動を展開してまいります。

また、新幹線倶知安駅周辺整備計画策定に向けた準備作業として、平成22年度から取り組んでいる「新駅周辺施設整備検討業務」については、昨年度から「新幹線まちづくり構想素案」取りまとめのためワークショップを行っており、本年度もワークショップで詳細な検討を行い、提案素案を取りまとめることとしております。

一方、高速道路の整備については、北海道横断自動車道の余市～小樽間は有料道路方式で既に建設が始まっており、平成31年の開業を目指しております。

残る黒松内～余市間について、昨年7月に道路環境調査

が開始されております。調査終了後、必要な手続きを経て建設着工へと進むこととなりますので、早期着工に向けた要望活動を引続き強化するとともに、北海道新幹線倶知安駅周辺整備等と連動した新たなまちづくりの検討を進めてまいります。

また、「まちなか循環バス ジャがりん号」は3年間の実証運行後、昨年度から通年運行を開始いたしました。初めての夏場運行は冬場に比べ4割程度乗車率が減少したものの、さらに利用しやすいルート、ダイヤの見直しを図った結果、今年の冬場は、昨年より以上の乗車率で推移しております。今後も、より一層、利用者の拡大と大型店などのサポーターの拡充を図り、町民の皆さまが「愛着を持って、支え、育む」ジャがりん号の運行をめざします。